



令和5年度 柏中学校学校運営説明会

- | | | | |
|---|----------------------------|--------------|------------------|
| 1 | 開催日 | 令和6年2月29日(木) | 14:45より |
| 2 | 場所 | 本校体育館 | |
| | ・学校運営説明会 | 14:45~15:05 | (体育館) |
| | ・PTA学年懇談会(1・2年のみ) | 15:10~15:50 | 1年生…多目的室 2年生…体育館 |
| | ・PTA学級懇談会(1・2年のみ) | 16:00~16:30 | (各教室) |
| 3 | 流れ | | |
| | 1) 学校長挨拶 | | |
| | 2) 令和5年度自己評価及び学校関係者評価書について | | |
| | 3) 次年度教育課程について | | |
| | 4) 質疑 | | |

「令和5年度 柏の学校評価」のまとめについて

【アンケート実施日】

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1) 生徒アンケート実施日 | 令和 5年12月4日から12月15日 |
| 2) 保護者アンケート実施日 | 令和 5年12月4日から12月15日 |
| 3) 教師アンケート記入日 | 令和 5年12月末 |
| 4) 教師年度末反省 | 令和 6年2月9日 |

【調査数について】

	生徒アンケート実施数(在籍数) ※欠席生徒を除く	保護者アンケート実施数		
		家庭配布(人数)	回収(人数)	回収率(%)
1学年	140(150)	134	89	66.4
2学年	147(160)	153	95	62.0
3学年	132(149)	149	81	54.3
7組	7(8) ※参考資料	8	5	62.5
全体	426(468)	444	270	60.8

【資料の見方】

①各項目の質問に対して、以下のような基準で、該当するものに○を記入していただいた。

Aーそう思う Bーどちらかといえばそう思う Cーどちらかといえばそう思わない Dーそう思わない

②A→4点、B→3点、C→2点、D→1点、として、その度数をかけて合計したものを回収数で割り、四捨五入して小数第1位までで表したものを「平均」としている。

③自己評価書の達成状況は、学校評価アンケート(生徒・保護者・教師)の集計結果において
平均3以上をA、2以上をBとして表示している。

令和5年度 学校評価アンケートの集計結果

生 徒			保護者		教師	
1					教育目標や、今年度の経営方針・重点等を意識して教育活動を行っている。	4.0
2	学校に行くのは楽しい。	3.4	子どもは学校生活を楽しんでいる。	3.2	各部・学年等の各組織は目標や方針を共通理解し、その目標達成のため業務を適切に行っている。	3.7
3	先生方は、授業をわかりやすく教えている。	3.2	柏中学校の授業は、子どもに意欲を持たせ、わかりやすい。	2.9	教材研究や指導法の研究に努め、学習意欲を向上させ、「わかる授業づくり」をしている。	3.9
4	自分が興味や関心をもって取り組める授業がある。	3.5	自分の子どもが興味や関心をもって取り組める授業がある。	3.1	生徒が見通しをもって取り組み、学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」ができるよう努めている。	3.7
5	中学校の授業では、他者との話し合いや仲間と一緒に活動することで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	3.4	中学校の授業では、自分の子どもが他者との話し合いや仲間と一緒に活動することで、考えを広げたり深めたりすることができる。	3.2	各教科で、他者との協働などを通じて自分の考えを広げ、深める「対話的な学び」ができるよう努めている。	3.9
6	学習面での努力や成果がきちんと評価されている。	3.1	自分の子どもの成績は、努力や成果が適切に評価されている。	3.1	本校の評価評価は適切な観点項目評価で行われている。	3.7
7	総合的な学習の時間は、視野を広げ将来のために役立つと思う。	3.3	総合的な学習の時間は、自分の子どもの将来のために役に立っている。	3.3	総合的な学習の時間を通して、「主体的・協働的な学び」を意識した授業に努め、社会の一員としての意識を深め、自己の生き方の自覚を培っている。	3.7
8	道徳の時間で学んだことは、考え方を豊かにして自分のためになると思う。	3.2	柏中学校は生き方について考えたり、豊かな心を育むなど道徳の指導に力を入れている。	3.1	道徳の授業が適切に行われ、豊かな人間性をはぐくんでいる。	3.9
					校内研修会は「自ら課題を課題を設定し、主体的に学ぶ意欲を育てる授業」の実践に向けて、役立つものとなっている。	3.8
					生徒の現状を学力・学習状況の調査結果をもとに分析し、学校全体で共有できる研修体制が構築されている。	3.8
9	私は、学級活動や生徒会活動に積極的に参加している。	3.0	自分の子どもは学級活動や生徒会活動に積極的に参加している。	3.1	学級活動、生徒会活動を通して、主体的・協働的な学びが育まれている。	3.8
10	旅行的行事（校外学習・宿泊研修・修学旅行）、体育祭、合唱会などの学校行事は楽しく、意欲的に取り組んでいる。	3.6	自分の子どもは、旅行的行事（校外学習・宿泊研修・修学旅行）、体育祭、合唱会などの学校行事に楽しく意欲的に参加している。	3.4	旅行的行事、体育的行事、文化的行事では、それぞれの行事のねらいが達成され、生徒は主体的に活動している。	3.8
11	私は、あいさつや時間、きまりを自ら意識して生活している。	3.3	柏中学校では、あいさつができる、時間や社会のルールを守るなどの基本的生活習慣が主体的に身につくよう指導している。	3.2	生徒が主体的に基本的生活習慣・規範意識を身につけることができるよう、工夫した指導が行われている。	3.7
12	私は、生命を大切にする心や、思いやり・助け合いの心をもって生活している。	3.5	柏中学校は、生命を大切にする心や思いやり・助け合いの心を育てるように指導している。	3.1	命の大切さを理解させ、自他の生命を尊重した指導を進めている。	3.9
13	先生方は、悩みや困っていることなどいろいろと相談にのってくれる。	3.2	教師は生徒の悩みや問題について親身になって対応している。	3.1	日頃から生徒の悩みを親身になって聞いたり、計画的に教育相談を行っている。	3.9
					いじめに迅速に対応する校内体制が整っている。	3.9
14	進路の時間で学んだ将来の生き方や進路の情報は、自分のためになると思う。	3.5	柏中学校は、将来を見通した進路指導に力を入れ、的確な情報を提供している。	3.0	将来を見据えた進路指導が計画的に行われ、主体的に進路選択する能力・態度が育まれている。	3.9
15	学校から出されたお便りを忘れずに保護者に渡している。	3.04	学校だより、学年だより、ホームページなどを通して、学校の様子がわかる。	3.2	学校だよりや学年だより、ホームページなどを通して本校の教育内容を適切に発信し、理解を図っている。	3.9
			柏中学校は、保護者が学校行事や授業を参観する機会を設けて、学校の教育活動がよくわかるようにしている。	3.3	学校公開がよく行われ、学校の様子を知らせ、家庭や地域に対する教育方針等の説明・情報発信が十分に行われている。	3.7

令和5年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和6年(2024年)2月13日
札幌市立柏中学校

1 本年度の学校経営の基本方針

- 「札幌市学校教育の重点」を踏まえ、本校の実態をおさえて教育の推進に当たる。
 - (1)学ぶ意欲をもって、主体的に取り組むことができる生徒の育成 【学ぶ力】
 - (2)互いを尊重し、支え合うことができる豊かな感性や社会性の育成 【豊かな心】
 - (3)体力向上や健康的な生活に主体的に取り組む生徒の育成 【健やかな体】
 - (4)校種間の連携をはじめ、教員の資質能力向上等の推進 【信頼される学校】

2 本年度の学校経営の重点

- 時代に対応した実践的な指導力向上に向け、自らが自主的・主体的な研修に努める。
- 現状に満足せず、絶えず教育課程や学校運営のよりよい改善と教育活動の充実に努める。
- 働き方改革の視点を念頭においた業務の改善に努める。
 - (1)「学ぶ意欲」「学んだ力」「活かす力」の学力の3要素をバランスよく育む。【学ぶ喜び】
 - (2)豊かな感性と社会性を育み、心に響く生徒指導を展開する。【心に響く指導】
 - (3)「健やかな体」の育成プランに基づき指導の充実に図る。【体力・健康教育】
 - (4)校種間や家庭・地域との連携と働き方の改善を図る。【共に歩む学校づくり】

3 自己評価結果および学校関係者評価者による評価

領 域	評 価 項 目	自 己 評 価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校教育目標	①教育目標や、今年度の経営方針・重点等を意識して教育活動を行っている。	A	・全教職員が重点目標を共通理解し、自己評価の改善方策を生かして取り組んできました。今後も生徒の気持ちに寄り添った指導に努めていきます。	A	A
	②各部・学年等の各組織は目標や方針を共通理解し、その目標達成のため業務を適切に行っている。	A	・学習指導要領のポイントを抑え、改善にも努めることができます。ICTの活用をしながら、今後も引き続き、目標達成に向けた取組の状況を的確に把握・整理していきます。	A	A
学習指導	③教材研究や指導法の研究を通して「わかる授業づくり」を目指し、生徒が「主体的で対話的な学び」ができるように努めている。	A	・校内研修や学習会の充実に図り、学習指導要領の内容理解と研鑽を更にすすめていきます。また教科横断的な視点から授業改善にも引き続き努めていきます。学びの質を高めるICTの効果的な活用についても研修や教科会を通じて研鑽していきます。	A	A
	④本校の評価評定は適切な観点項目評価で行われている。	B	・学習指導要領に則り、評価基準の見直しをはじめ、授業における見取り方、評価資料の収集・方法について研修を進めていきます。また、日々の学習活動における子どもたちの振り返りが次の学習目標につながるようアドバイスの仕方等に工夫をしていきます。	A	A
	⑤総合的な学習の時間を通して「主体的・協働的な学び」を意識した授業に努め、社会の一員としての意識を深め、自己の生き方の自覚を培っている。	A	・今年度は合唱会を数年ぶりに開催できるなど、各学年の発達段階および総合Ⅰ～総合Ⅴのねらいに応じた課題を設定し、交流しながら思考と活動を深め、協働的な学びができるように努めてきました。次年度は、旅行の行事が9月に移行することで、性教育を含めた総合全体の体系を改めて見直し、総合Ⅰ～総合Ⅴのねらいの細かな修正を図ります。また、今後も「主体的・協働的な学び」を意識した授業に努めていきます。	A	A
	⑥生徒の現状を学力・学習状況の調査結果をもとに分析し、学校全体で授業改善に取り組む研修体制が構築されている。	A	・学力向上調査、全国学力状況調査等において生徒の現状を踏まえ、自己の変容や学習活動に取り組むことの有用感が得られるようにするための「振り返り」「評価方法」について研修を深め、校内研修会で共通理解を図り授業改善に積極的に取り組んできました。今後も校内研修会の在り方や研修を通して、授業と評価の一体化について研鑽します。	A	A

道徳 特別活動 学校行事	⑦道徳の授業が適切に行われ、豊かな人間性を育てている。	A	・年間指導計画に基づき道徳の授業の研究に努めることができました。カリキュラムマネジメントの視点に立ち、次年度の学習計画をたて、今後も更に授業研究に取り組んでいきます。	A	A
	⑧学級活動、生徒会活動を通して、主体的・協働的な学びが育まれている。	A	・コロナの5類への移行にともない、コロナ前の活動に戻すように努めてきました。徐々にではありますが子どもたちの主体的・協働的な場面も増やされてきました。引き続き、創意工夫しながら生徒の自主的、実践的な態度の育成に取り組んでいきます。	A	A
	⑨旅行的行事、体育的行事、文化的行事では、それぞれの行事のねらいが達成され、生徒は主体的に活動している。	A	・コロナ前に実施していた、すべての行事を実施することができました。数間、中止していた取組に関しては、本来通りとはいかないこともありましたが、生徒の有用感を高める機会になりました。生徒が意欲的に取り組み、達成感を得られる行事の企画・推進に今後も努めていきます。	A	A
学校生活 教育相談 進路指導	⑩生徒が主体的に基本的生活習慣・規範意識を身につけることができるよう、工夫した指導が行われている。	A	・「あいさつをしっかりと行う」「返事をしっかりとする」「身だしなみ」等、生徒が主体的に「しっかりと行う」という意識が高まりつつあります。教師側からだけでなく、生徒会役員や生活委員会が中心となって、生活点検や挨拶活動等を行うことができました。生活面において主体的に問題解決に取り組む態度が更に育つように取り組んでいきます。	A	A
	⑪命の大切さを理解させ、自他の生命を尊重した指導を進めている。	A	・命を守る月間において「命」をテーマに創作活動に取り組みました。今後も生徒の主体的な活動や道徳教育、性教育の指導を通して、自己を肯定的に受け止め、命を大切にする態度の育成に努めていきます。	A	A
	⑫日頃から生徒の悩みを親身になって聞いたり、計画的に教育相談を行っている。	A	・今後も「学習と生活の記録」や教育相談カードを活用し、相談日を増やす等教育相談を充実させていきます。また、日常の生徒観察やコミュニケーションの充実にも努めます。	A	A
	⑬いじめに迅速に対応する校内体制が整っている。	A	・「いじめ防止対策基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、対応に向けて保護者、関係機関と連携して、組織的に取り組んでいきます。また、生徒が主体となる防止の取組にも継続して取り組んでいきます。ネットにかかわるいじめ問題については保護者の理解と連携も含め、取り組んでいきます。	A	A
	⑭生徒の体力の向上や心身の健康の保持増進に努めるよう指導している。	A	・今年度の成果を踏まえて「健やかな体」育成プログラムの改善を行い、教育活動全体を通して取り組むとともに、家庭とも連携して心身の健康保持に努めていきます。	A	A
	⑮心身に障がいのある生徒や不登校生徒についての対応が適切に図られている。	A	・校内学びの支援委員会、支援連絡会を機能させて教員の共通理解や関係機関との連携を一層図ります。	A	A
	⑯将来を見据えた進路指導が計画的に行われ、主体的に進路選択する能力・態度が育まれている。	A	・総合的な学習の時間における職業調べや職業体験を今年度は取り組むことができました。進路に関わっては、引き続き、生徒が主体的に進路に関する必要な知識と情報を集め、進路選択できるように、日頃から進路に関する様々な情報の提供に努めていきます。	A	A
開かれた学校 生活環境	⑰学校だよりや学年だより、ホームページなどを通して本校の教育内容を適切に発信し、理解を図っている。	A	・学校だよりやホームページの内容を充実させることに今後も努めていきます。「すぐる」の活用にも力を入れ、効果的に活用できるよう努めていきます。また、プリント類の提出など子どもたちへの周知徹底にも力を入れていきます。	A	A
	⑱学校公開がよく行われ、学校の様子を知らせ、家庭や地域に対する教育方針等の説明・情報発信が十分に行われている。	A	・学校公開は予定通り行うことができました。次年度は工夫を凝らし、保護者の方々が来校したり、ニーズや感想を聞けたりする場面を増やしたいと思います。	A	A
	⑲学校は、安心・安全を維持しながら適切な学習環境を整えている。	A	・安全衛生の日だけではなく日々、校内の安全体制、生徒の見守りに力を入れていきます。	A	A
学校関係者 評価者による 意見	学習面や生活面において、手厚く継続的な教育活動を推進している印象を受けました。日常的に、登下校中の生徒を目にする機会がありますが、活気のある様子が見て取れます。コロナ前の「元気な挨拶ができる生徒」に期待しています。また、年々自分に自信をもって学校生活を送る生徒が少なくなっているようにも感じます。教員の生徒を温かくサポートする姿勢には感服するところですが、生徒が自信をつけていくような取組の充実が図られることが大切だと思いました。				